（別紙4（2））

事業所名：　グループホーム小笠

目標達成計画

作成日：　平成 27 年 3 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	グループホームに町内会や市からの会報やたよりが届くことが無く、地域行事について入居者が直接知り得る機会が少ない。	入居者の方へ会報等が届くようにして、地域との繋がりを強く持てるようにしたい。	『菊川市たより』などの会報をグループホームへ届くようにし、入居者が閲覧できるようにする。	3ヶ月
2	4、10	家族会の開催が無く、ご家族からのご意見・ご要望を汲み取る機会が乏しい。	ご家族とのつながりや信頼関係を強くし、グループホーム運営への理解やご協力を頂けるようにしたい。	①運営推進会議に出席する家族代表者を毎回違うご家族に依頼し、全てのご家族に参加して頂く。 ②面会や電話連絡の際には近況をお伝えしながら、ご家族からの意見や要望を引き出せるよう働きかけを行う。	6ヶ月
3	25、26	1日が業務中心の流れとなっており、個別ケアへの取り組みが不足している。	個別ケアへの意識付けと取り組みを強化したい。	①各入居者のサービス計画書の内容を把握した上で、日中の活動に反映させていく。→朝礼で活動予定を発表し、夕礼で活動報告を行う。 ②サービス計画書のモニタリングの間隔を短くし、サービス内容の把握・理解に努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。